

Course number		U-LAS02 20024 LJ37																																	
Course title (and course title in English)		日本語コミュニケーションの特徴 Some Features of Japanese Communication		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Institute for Liberal Arts and Sciences Professor,PALIHAWADANA Ruchira																													
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Arts, Literature and Linguistics(Issues)																													
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A		Number of credits		2																									
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters		2025・First semester																									
Days and periods		Mon.2		Target year		All students		Eligible students		For all majors																									
[Overview and purpose of the course]																																			
私たちは相槌一つを打つ時でさえも、無意識的であるとは言え、話し相手との上下関係や取り上げる話題などによって打つ相槌の種類を選択し、その相槌の打ち方を通して相手に対する配慮を表現する。このようにコミュニケーションの諸形式において、言語の使用を左右する社会・文化的背景が見えてくる。 この授業では、ノンバーバルコミュニケーション、相槌表現、謙譲表現、授受表現などを例にしながら、日本語コミュニケーションの諸特徴について考察する。とりわけ、聞き手に対する配慮意識がこれらの表現にどう反映されるのかを考えてみる。談話の進行の仕方や情報構造と配慮機能の関わり方などについても取り上げる。																																			
[Course objectives]																																			
取り上げる表現を手掛かりにしつつ、様々な言語現象に気付き、観察する関心・能力を養うことがこの授業の到達目標である。 履修者には自身の言語行動について注意深く内省しながら、ディスカッションなどに積極的に参加して頂きたい。																																			
[Course schedule and contents)]																																			
この授業では様々な日本語コミュニケーション形式に反映される日本語の特徴について考察していく。 各回の授業内容（予定）は以下の通りである。 <table><tr><td>第1週</td><td>履修ガイダンス、総論</td></tr><tr><td>第2週</td><td>クイズ、ノンバーバルコミュニケーション</td></tr><tr><td>第3週</td><td>相槌表現とフィラー、考察文1</td></tr><tr><td>第4週</td><td>独り言、ディスカッション1</td></tr><tr><td>第5週</td><td>感情の表出と感動詞、考察文2</td></tr><tr><td>第6週</td><td>挨拶表現の特徴、ディスカッション2</td></tr><tr><td>第7週</td><td>指示表現、考察文3</td></tr><tr><td>第8週</td><td>呼称表現、ディスカッション3</td></tr><tr><td>第9週</td><td>依頼・断り表現、考察文4</td></tr><tr><td>第10週</td><td>ほめ言葉、考察文5</td></tr><tr><td>第11週</td><td>授受表現と恩恵、考察文6</td></tr><tr><td>第12週</td><td>謙譲・配慮表現、ディスカッション4</td></tr></table>												第1週	履修ガイダンス、総論	第2週	クイズ、ノンバーバルコミュニケーション	第3週	相槌表現とフィラー、考察文1	第4週	独り言、ディスカッション1	第5週	感情の表出と感動詞、考察文2	第6週	挨拶表現の特徴、ディスカッション2	第7週	指示表現、考察文3	第8週	呼称表現、ディスカッション3	第9週	依頼・断り表現、考察文4	第10週	ほめ言葉、考察文5	第11週	授受表現と恩恵、考察文6	第12週	謙譲・配慮表現、ディスカッション4
第1週	履修ガイダンス、総論																																		
第2週	クイズ、ノンバーバルコミュニケーション																																		
第3週	相槌表現とフィラー、考察文1																																		
第4週	独り言、ディスカッション1																																		
第5週	感情の表出と感動詞、考察文2																																		
第6週	挨拶表現の特徴、ディスカッション2																																		
第7週	指示表現、考察文3																																		
第8週	呼称表現、ディスカッション3																																		
第9週	依頼・断り表現、考察文4																																		
第10週	ほめ言葉、考察文5																																		
第11週	授受表現と恩恵、考察文6																																		
第12週	謙譲・配慮表現、ディスカッション4																																		

Continue to 日本語コミュニケーションの特徴(2)↓↓↓																																			

日本語コミュニケーションの特徴(2)

第13週 情報構造とコミュニケーション、考察文 7
第14週 日本語は曖昧な言語なのか?、ディスカッション 5
第16週 フィードバック

なお、履修者に合わせて内容を若干変更する場合もある。
与えられた課題について上記の通りグループ・ディスカッションを行う予定であり、履修者の積極的参加が求められる。
授業の要点に関わる考察文の作成・提出・フィードバックにPandAを用いる。

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

評価は以下の通りを行う。

期末レポート 40%
クイズ、ディスカッション、考察文 50%
授業への参加度合い 10%

なお、5回以上の欠席者は評価の対象としない。

[Textbooks]

プリント配布

[References, etc.]

(References, etc.)

国立国語研究所 『言語行動における「配慮」の諸相』(くろしお出版) ISBN:9784874243381
Brown, P. & Levinson, C. 『Politeness Some Universals in Language Usage』(Cambridge University Press)
ISBN:9780521313551

[Study outside of class (preparation and review)]

参考文献については、配布プリントの末尾に掲載しておく予定であり、授業中にも適宜紹介する。
履修者には各回最低限一つの文献を調べてみる習慣を身に付けてほしい。更に、英語で書かれた文献の講読にもチャレンジしてほしい。

[Other information (office hours, etc.)]

オフィスアワー：木曜日14:45～16:15
研究室：旧石油化学教室本館棟1階105号室